

効果的な学習法を求めて

志学院塾長 熊谷稜昭

【授業の目的】

「授業」は学校・塾を問わず、また少人数であれ、個別であれ、どの授業形態であっても目の前の学習事項を理解のため解説をうける時間です。

学力養成は理解することからスタートということになります。理想的なよい授業とは一人残らず全ての生徒が理解できる、「ワカル」授業だということです。

20人や30人いる教室でも能力が均一なら可能かもしれませんが、バラバラならこれを求めることは不可能でしょう。普通の公立学校の授業の難点がここにあるわけです。

理解していない場合、学力養成はスタートからダメージを受けていることになります。1対1の個別授業の場合、自分が理解するまで指導してもらえる点で理想に近い授形態と言えます。

【授業時間数が多ければ良いのか】

塾や予備校などで沢山授業を取れば成績が上がると思っている方が時々おられます。先程も書いたように授業は飽くまでも学習事項

を理解するため説明を受ける時間です。

一旦理解ができた学習事項でも、必ずしも実力として定着する訳ではなく、すぐ試験問題を解答できる力になる訳でもありません。授業を沢山受けて満足している恐れさえあります。

本人は勉強している気分にはなるかも知れませんが（時には親までも）、言わば消化不良を起こしている可能性があります。授業時間の多い割には効果がでてないと実感されている方も多いのではないのでしょうか。

【教師の役割】

授業で生徒に理解を与えるのは教師です。生徒にやる気を与えるのも教師です。また勉強のやり方や方向性を示す（カリキュラムを組む）のも教師の仕事です。

これらの点で教師は重要な役割があります。教師は常に本格的な力量が問われます。この一つ一つをアルバイト教師に期待していいものでしょうか。こういう理由で志学では教師の資質にこだわりを持っています。

その資質を磨く努力を惜しまない教師でなければなりません。一時的なアルバイト教師を採用しない理由がここにあります。

【成績が悪ければ頭が悪いか！？】

結論からいって学力と知能はちがいます。

当然学力は知能の支えは必要ですが、しかし知能そのものに各自
が取る点数ほどの差がある等考えられません。

同じ試験で60点取る人と80点取る人は知能そのものに20
パーセントの差があるのでしょうか。

60点の人でも努力次第で80点を取れると考えた方が自然では
ないのでしょうか。

成績が悪ければ頭が悪いと言い切るのはちょっと待ってください。
頭が良くても成績が悪い人もいますのですから。

【入試はずしも頭のいい人から順に合格するわけではありません】

入学試験で頭のいい人から合格させるのなら、英語、数学、国語
など入試科目にする必要はありません。頭のいい人を選抜する目的
なら知能テストをすればいいわけです。

入学試験が三教科や五教科を課するのは、努力の結果としての学
力を評価しているわけです。合格点以上の学力をつける努力ができ
る人を合格者にしているのです。

【どうしたら学力を伸ばせるのだろう・・・3つのポイント】

まず重要なのは生活習慣

同じ能力が有ってもある生徒はトップ校に合格し、ある生徒は3番手4番手校に合格がやっとということがあります。この差はなぜ出てくるのでしょうか。

同じ能力があっても成績の差が出てしまうのは毎日の生活習慣が違うからです。

その生活習慣の上に受験生活が建っているのです。受験生活は毎日毎日の生活の中で進めていくものです。自分では勉強していると思っている人でも毎日の生活パターンが変動しては勉強の効率が非常に悪いものになるものです。

学力は毎日の生活習慣で決まる要素も大きいのです。自分の生活習慣を点検してみましょう。

- 1、起床、就寝時間が決まっていない
- 2、勉強しない日があるかと思えば午前1時2時過ぎまで勉強したりする
- 3、自分の部屋で一人テレビや漫画で時間をつぶしていることがよくある

心当たりが無ければ幸いなのですが、これらは大変時間の無駄をしているばかりでなく、学習効率にブレーキを掛けていることになります。これではどんなに優れた能力の持ち主でも能力に応じた成績を得ることはできません。

どうしたら・・・

- 1、 起床、就寝時間（12時前）を決め自分で充分の睡眠時間は必ずとる。
- 2、 遊ぶ、学習する等ほぼ予定の時間内で行動ができるように自己訓練する。
- 3、 注意深さが勉強では重要な役割を果たすので、日常生活の中でも意識的に訓練して、注意深さを高める努力をする。

これは難しそうに見えますが案外1～2週間の努力で整ってきます。一度整ったものを壊さない様お願いします。

安定したサイクルで日常生活を暮らし、その生活の上に学習生活、受験生活が乗っていることを知ることは大事なことです。

自主学習の重要性

「自主学習無くして成績向上なし」は志学の最も主張するところ
です。授業を受けるばかりで、自主学習がない生徒はまず成績が伸
びません。一旦理解できた学習事項を実力として定着させるには、
十分な自主学習時間が必要なのです。自主学習している間に必ず起
こってくる大小様々な疑問、理解の不十分な所が浮かび上がってき
ます。

まず自主学習しない人には、こういう疑問すら起こらないし、理
解不十分な所を見過ごしてしまうでしょう。自主学習の重要なのは
疑問、理解不十分な所を見出すばかりではありません。意識するし
ないにかかわらず考える力、自力での解決する力、また整理、記憶
する力などが長い時間かかって徐々に身に付いてきます。自主学習
の重要性を強調しても、し過ぎることはありません。

繰り返し学習の効果

一度よく理解したことでも、人間は時がたてば忘れるものです。
授業で理解したことが普通はそのまま実力として定着はしません。

確かに中には印象深い授業があって、なかなか忘れないことも有
るものですが、しかしすべての授業をそう望むことは不可能です。

学力の定着化になくなくてはならないもの、それは繰り返し学習です。

同じ学習事項でもいろいろな角度の問題を解く練習が無ければ真の学力として定着しません。

暗記ものは多く繰り返した方がより明瞭に頭に残るのは皆さん経験済みでしょう。だからひとつの学習事項でも真の実力をつけるには繰り返し学習が必要で、時間がそれだけかかるのです。

「自分より学力の高い人は必ず自分より努力している」と考えよう

「あいつがおれよりできるのは頭がいいからだ」と考えるのは自分の現在のあり方を変えようとしなない怠慢からくる発想でしかありません。

実は皆さんの能力は皆非常に高くほとんど差はないに等しいのです。ですから学力を伸ばしたい人は注意深さを含む生活習慣、自主学習、繰り返し学習が大事です。早く習慣化しましょう。

目標を高く持ち、鉄石の意志で1日1日を進んでください。「学問に王道なし」「意志あるところに必ず方法あり」と言われているではありませんか。そして1日の終わり布団に入る時「今日の自分を褒めてあげたいぐらい充実した1日だった。」と思える1日1日を積み重ねて行けば君は必ず勝利者になれるのです。

(轉載引用不許可)